

自慢のリンゴ味わって！リンゴ籠運動

児童が学校給食用のリンゴを家庭から持ち寄る「リンゴ籠運動」が12月12日（月）、鶴田小学校で行われました。この日は26人児童が計9箱（約180kg）分のリンゴを持ち寄ってくれました。

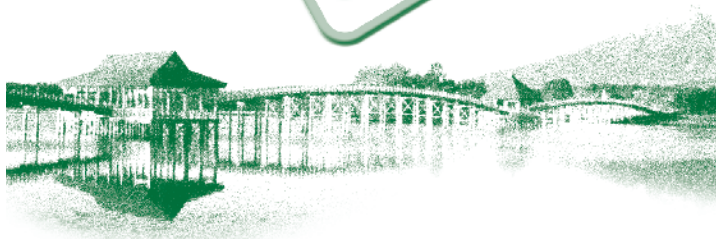
町では食育や地産地消を推進するため、毎年、地域の生産者からリンゴを提供していただき、11月から3月までの町小中学校給食で地元産のリンゴを提供しています。

防寒具に身を包んだ児童たちはリンゴの入った手籠を持って登校。出迎えた先生たちに元気よくあいさつした後、玄関に置かれたリンゴ箱に一つ一つ丁寧に移し替えていました。

リンゴを持参した児童は「お父さんが作ったリンゴをみんなに美味しく食べてほしい」と話していました。



△家から手籠に入れて持ってきたリンゴを一つ一つ箱に移し替える児童たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

地域住民による自家製みそ造り

12月16日（金）、尾原地区の住民たちが農産物処理加工施設で自家製みそ造りを行いました。

手作り味噌造りは30年以上前から行われおり、この日は5世帯の住民がみそ造りを行いました。みそ造りの材料は米麹と大豆、塩の3つです。事前に準備をした自家製米麹と茹でた大豆、塩を混ぜ合わせ、機械でミンチ状にし、それを空気が抜けるように容器に押し入れて、重しを乗せて作業が完了。約40kgのみそができました。半年から1年間寝かせることで手作りみそが完成します。

長年みそ造りを行っている住民は「自家製みそは自分たちで味を調整できるので、自分に合ったみそを作れる」と話し、今回初めて参加した山田園実さんは「ベテランの方たちと作業ができて安心でした。完成するのが楽しみです」と完成を心待ちにしていました。



①



②



③



④

①茹でた大豆を適温にする作業 ②米麹と大豆、塩を混ぜ合わせる
③・④みそを容器に空気を抜くように入れる

米国姉妹都市とのオンライン交流会

12月17日（土）、鶴田中学校と鶴田高校の生徒7名が、町の姉妹都市・米国オレゴン州フッドリバー市のフッドリバーバレー高校の生徒たちとのオンライン交流会が行われました。

オンライン交流会は、「フッドリバー市民と親しくする会」が主催。鶴田町側からは生徒や会員ら約50人が出席。オンライン交流を行った生徒たちは、それぞれの将来の夢や趣味などを英語でスピーチ。国際交流員が補助に入り、お互いのスピーチについて質問をしながら親睦を深めていました。

オンライン交流を行った鶴田中学校2年の神匠朗さんは「コロナ禍で直接交流できないのは残念だけど、オンラインで交流することができてうれしかったです」と話していました。



△オンラインでフッドリバーの生徒たちと交流する鶴中生

学校給食レシピコンテストで最優秀賞

青森県産の食材を使った給食レシピを考える「令和4年度学校給食レシピコンテスト」（県教育委員会主催）。応募総数 626 点の中から、鶴田小学校6年の赤石歩希さんが考えた「青盛・和チャウダー」が小学生部門の最優秀賞に選ばれました。

12月22日（木）、鶴田小学校で賞状と副賞を受け取った赤石さんは「ほたてが好きなので、青森県産品をたくさん使えるチャウダーを作りました。みんなにも食べてもらいたいです」と笑顔を見せていました。

その他に、同校6年の西澤聖和さんの「しゃけじゃが」が優秀賞に選ばれました。1月16日には「しゃけじゃが」が、同月26日には「青盛・和チャウダー」が管内小中学校給食に登場します。



①最優秀賞を受賞した赤石さん ②最優秀賞レシピ「青盛・和チャウダー」
③優秀賞レシピ「しゃけじゃが」

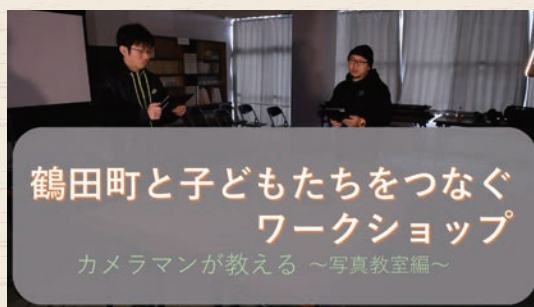
地域おこし協力隊通信

Vol.51 (筆：川口翔大)

年度内4回の開催を目標にはじめた“子供たちと鶴田をつなぐワークショップ”の第三回はプロのカメラマンによる写真講座を予定していましたが、ところが今回は諸事情により中止の運びに…。

そのかわりに、新しい試みとして、ワークショップの内容を動画にして皆さんにお届けしてみようと考え、町の公式YouTubeチャンネルに投稿しています。講師は以前に鶴田町民ライブラリーにも登場した斎藤崇さんです！CM大賞応募用の動画作成に立ち会ったことはあったのですが、自分で作業するのは初めてでした。まだまだ粗は目立ちますが、今回の経験を生かして、今後ものにが町をPRするのに動画も使えたらいいな、と考えています。

寒さも厳しいですが、町民の皆さまも体調にはお気を付けて！



△ワークショップ動画のサムネイル



◀ワークショップ動画の二次元バーコード

川口さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。

鶴田町民憲章

- 一、花と緑を育て、明るく
公害のないまちをつくりましょう。
- 一、スポーツに親しみ、健康で
住みよいまちをつくりましょう
- 一、仕事に誇りをもち、生産を高め
豊かなまちをつくりましょう。
- 一、年よりをいたわり、若い力を伸ばし
希望あふれるまちをつくりましょう。
- 一、教育をすすめ、創意を生かし
文化の花咲くまちをつくりましょう。



本年もよろしくお願ひします

写真撮影／工藤 勝弘さん（鶴田写真クラブ）